

V-2 ケアマネジャー調査
(病院退院後の居宅系サービス利用者調査)

V-2 ケアマネジャー調査（病院退院後の居宅系サービス利用者調査）

平成 28 年 7 月 1 日から平成 28 年 10 月 1 日までの間に、病院から退院して居宅系の介護サービスを利用している方 1,203 人（各事業所とも最近の入所からさかのぼって最大 10 人分を調査）について、利用者の状況を取りまとめたものです。

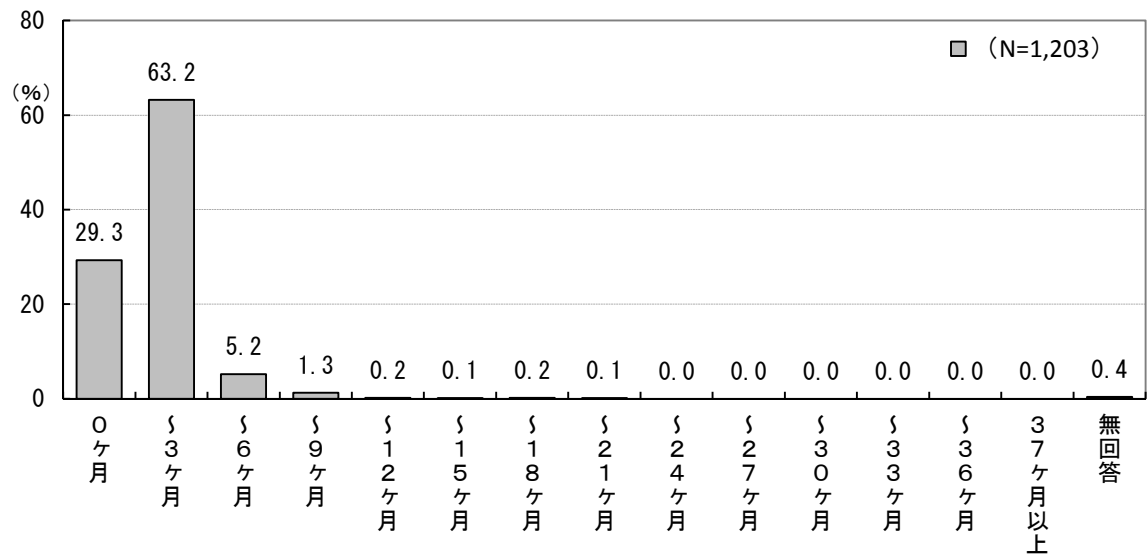
■ 施設の種類の種類

	全体	訪問介護	通所介護	訪問看護	小規模多機能 型居宅介護	居宅介護支援
回答数(人)	1,203	10	20	26	21	1,023
構成比(%)	100.0	0.8	1.7	2.2	1.7	85.0

	介護老人 福祉施設	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	特定施設 入居者 生活介護	軽費老人 ホーム (ケアハウス)	認知症対応型 共同生活介護
回答数(人)	25	52	4	8	7	7
構成比(%)	2.1	4.3	0.3	0.7	0.6	0.6

問１・２ 入院から退院までの期間

- 入院から退院までの期間をみると、平均 1.34 ヶ月で、『3 か月以内』が約 9 割（92.5%）と大半を占めている。

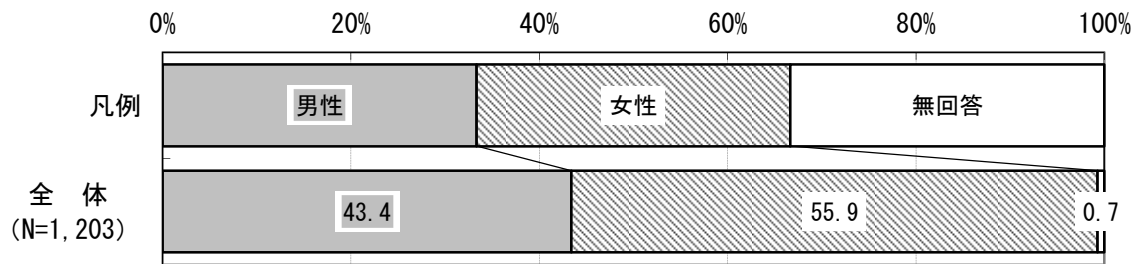


	全体	0 ヶ月	～3 ヶ月	～6 ヶ月	～9 ヶ月	～12 ヶ月	～15 ヶ月	～18 ヶ月	～21 ヶ月
回答数(人)	1,203	352	760	63	16	3	1	2	1
構成比 (%)	100.0	29.3	63.2	5.2	1.3	0.2	0.1	0.2	0.1

	～24 ヶ月	～27 ヶ月	～30 ヶ月	～33 ヶ月	～36 ヶ月	37 ヶ月以上	無回答	平均期間
回答数(人)	-	-	-	-	-	-	5	1.34
構成比 (%)	-	-	-	-	-	-	0.4	

問3 性別

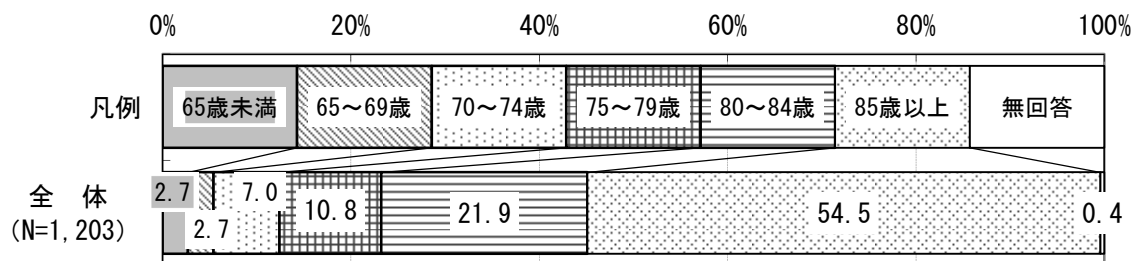
- ・性別をみると、「女性」(55.9%)が「男性」(43.4%)と、女性が男性をやや上回っている。



	全体	男性	女性	無回答
回答数(人)	1,203	522	672	9
構成比 (%)	100.0	43.4	55.9	0.7

問4 年齢

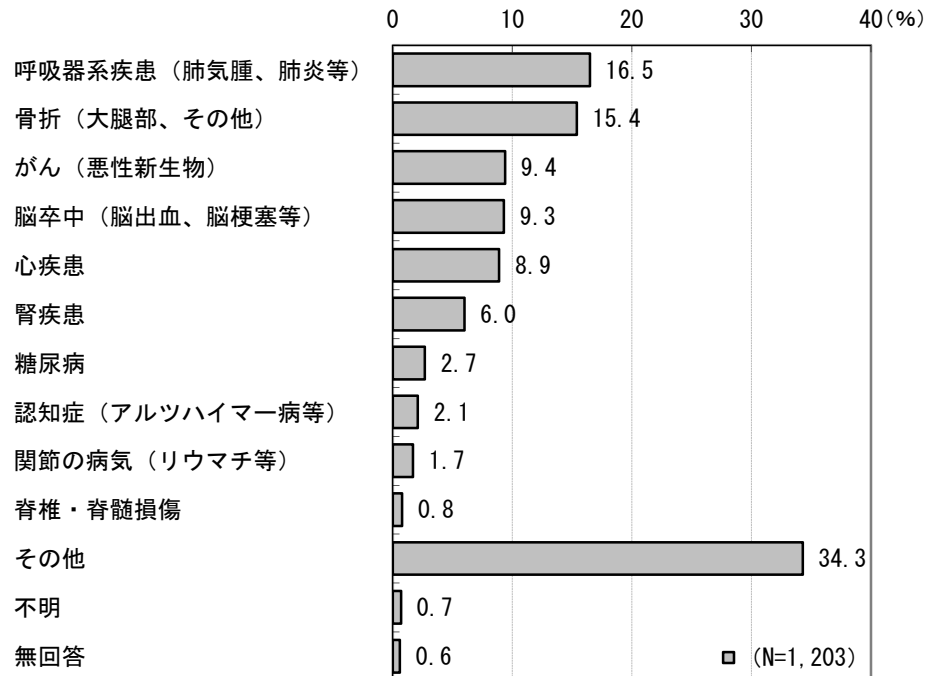
- ・年齢をみると、対象者の平均年齢は 84.22 歳で、「85 歳以上」が半数以上 (54.5%) となっている。



	全体	65 歳未満	65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85 歳以上	無回答	平均年齢
回答数(人)	1,203	32	33	84	130	263	656	5	84.22
構成比 (%)	100.0	2.7	2.7	7.0	10.8	21.9	54.5	0.4	

問5 入院の主たる原因疾患

- ・入院の主たる原因疾患をみると、「呼吸器系疾患（肺気腫、肺炎等）」（16.5%）及び「骨折（大腿部、その他）」（15.4%）がともに1割以上と多く、次いで「がん（悪性新生物）」（9.4%）、「脳卒中（脳出血、脳梗塞等）」（9.3%）、「心疾患」（8.9%）となっている。

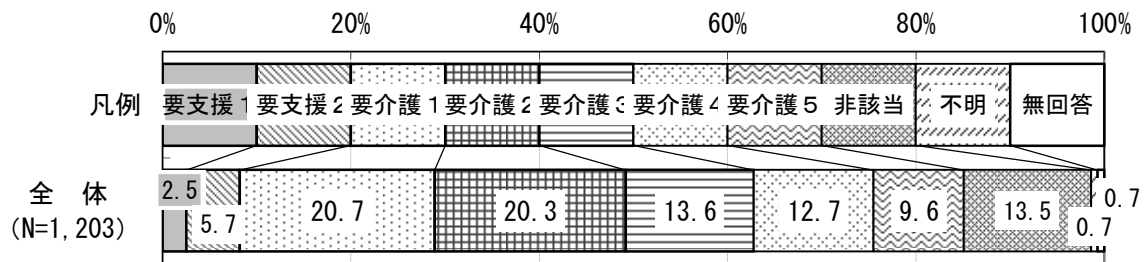


	全体	呼吸器系疾患（肺気腫、肺炎等）	骨折（大腿部、その他）	がん（悪性新生物）	脳卒中（脳出血、脳梗塞等）	心疾患	腎疾患
回答数(人)	1,203	199	185	113	112	107	72
構成比 (%)	100.0	16.5	15.4	9.4	9.3	8.9	6.0

	糖尿病	認知症（アルツハイマー病等）	関節の病気（リウマチ等）	脊椎・脊髄損傷	その他	不明	無回答
回答数(人)	32	25	20	10	413	8	7
構成比 (%)	2.7	2.1	1.7	0.8	34.3	0.7	0.6

問6 入院前の要介護度

- ・入院前の要介護度をみると、要介護3から要介護5までの中・重度者が3割以上（35.9%）と多くなっており、平均要介護度は2.4となっている。

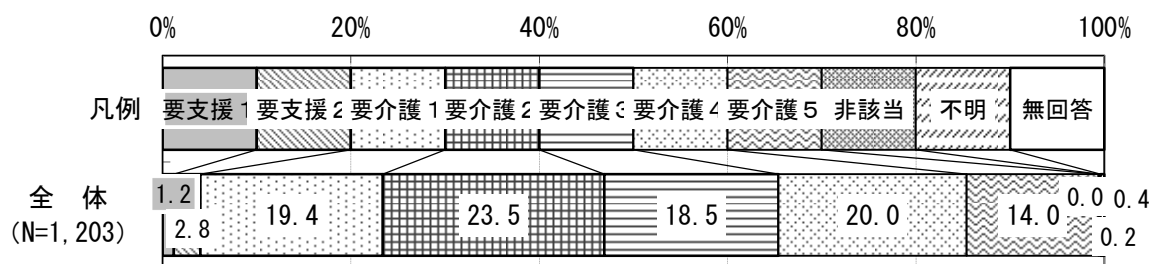


	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
回答数(人)	1,203	30	69	249	244	164
構成比(%)	100.0	2.5	5.7	20.7	20.3	13.6

	要介護4	要介護5	非該当	不明	無回答	平均要介護度
回答数(人)	153	115	163	8	8	2.4
構成比(%)	12.7	9.6	13.5	0.7	0.7	

問7 退院後の要介護度

- ・退院後の要介護度をみると、要介護3から要介護5までの中・重度者が半数以上（52.5%）を占め、入院前に比べて要介護度が進んでいる人が多くなっている。

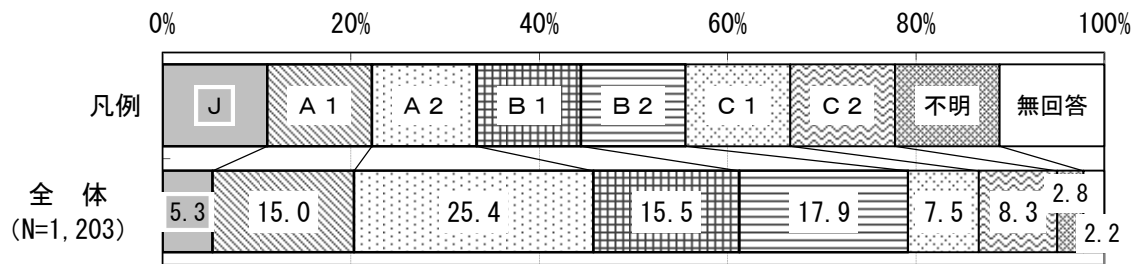


	全体	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
回答数(人)	1,203	15	34	233	283	222
構成比(%)	100.0	1.2	2.8	19.4	23.5	18.5

	要介護4	要介護5	非該当	不明	無回答	平均要介護度
回答数(人)	240	169	-	2	5	2.8
構成比(%)	20	14	-	0.2	0.4	

問8 退所時点の日常生活自立度

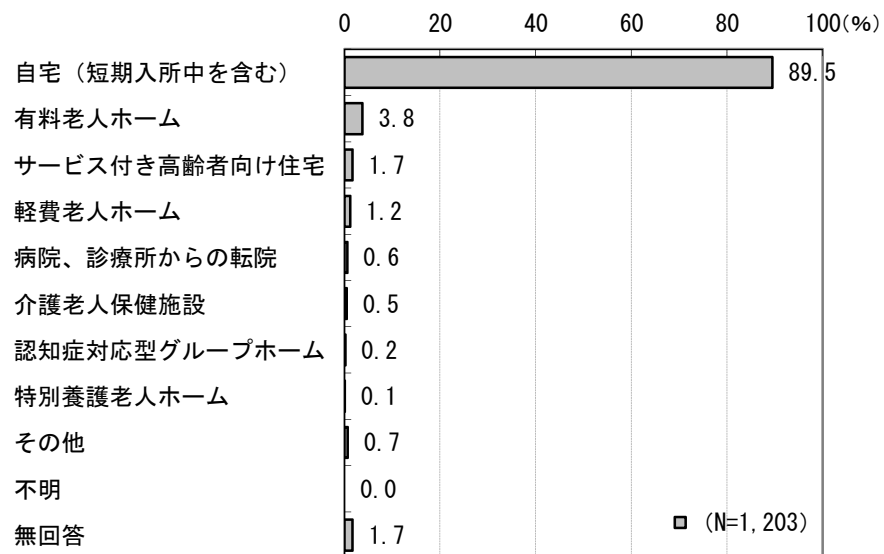
・退所時点の日常生活自立度をみると、寝たきり（B・C）が約半数（49.2%）となっている。



	全体	J	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	不明	無回答
回答数(人)	1,203	64	180	306	187	215	90	100	34	27
構成比(%)	100.0	5.3	15.0	25.4	15.5	17.9	7.5	8.3	2.8	2.2

問9 入院直前の居所

・入院直前の居所をみると、「自宅（短期入所中を含む）」が約9割（89.5%）と大半を占めている。

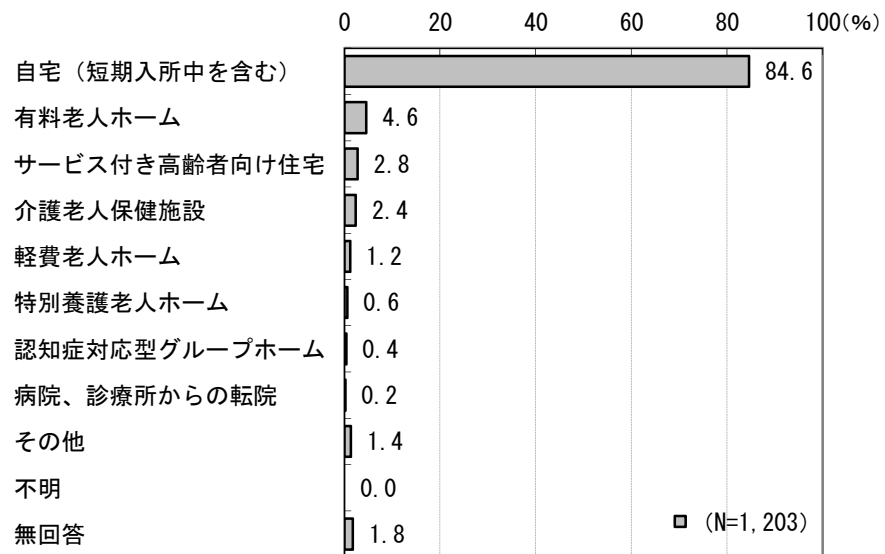


	全体	自宅（短期入所中を含む）	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	軽費老人ホーム	病院、診療所からの転院
回答数(人)	1,203	1,077	46	20	15	7
構成比(%)	100.0	89.5	3.8	1.7	1.2	0.6

	介護老人保健施設	認知症対応型グループホーム	特別養護老人ホーム	その他	不明	無回答
回答数(人)	6	2	1	8	-	21
構成比(%)	0.5	0.2	0.1	0.7	-	1.7

問 10 退院後の居所

- ・退院後の居所をみると、「自宅（短期入所中を含む）」が8割以上（84.6%）と大半を占めている。



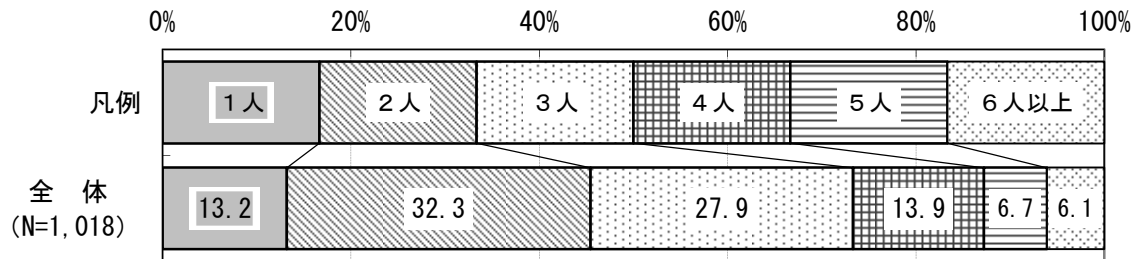
	全体	自宅（短期入所中を含む）	有料老人ホーム	サービス付き高齢者向け住宅	介護老人保健施設	軽費老人ホーム
回答数(人)	1,203	1,018	55	34	29	14
構成比 (%)	100.0	84.6	4.6	2.8	2.4	1.2

	特別養護老人ホーム	認知症対応型グループホーム	病院、診療所からの転院	その他	不明	無回答
回答数(人)	7	5	2	17	-	22
構成比 (%)	0.6	0.4	0.2	1.4	-	1.8

問 11（問 10 で「自宅」と回答した人のみ）

（１）同居人数（本人を含む）

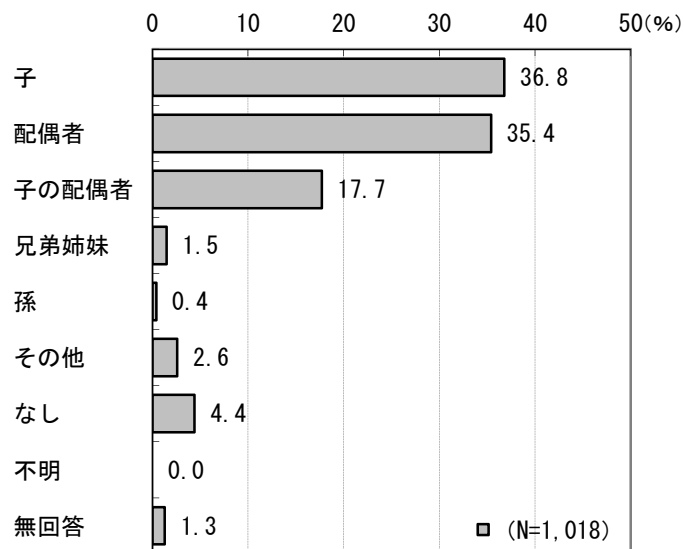
- ・問 10 で「自宅」と回答した 1,018 人について、同居人数をみると、本人を含めて「2 人」が 3 割以上（32.3%）を占め最も多く、次いで「3 人」（27.9%）、「4 人」（13.9%）となっており、平均同居人数は 2.93 人となっている。



	全体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人以上	平均同居人数
回答数(人)	1,018	134	329	284	141	68	62	2.93
構成比 (%)	100.0	13.2	32.3	27.9	13.9	6.7	6.1	

（２）主な介護者

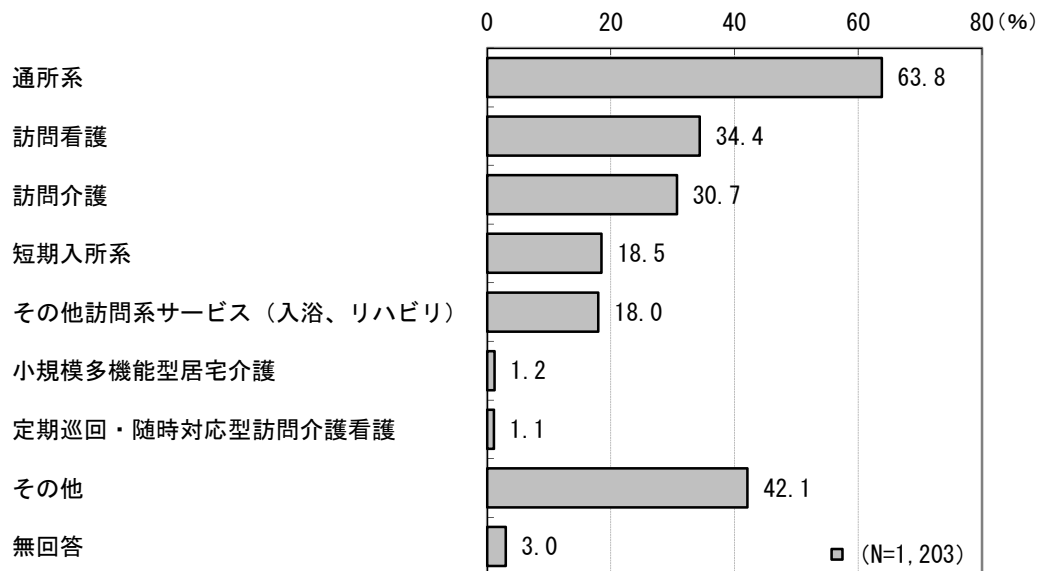
- ・主な介護者をみると、「子」（36.8%）及び「配偶者」（35.4%）がともに 3 割以上で多く、次いで「子の配偶者」（17.7%）の順となっている。



	全体	子	配偶者	子の配偶者	兄弟姉妹	孫	その他	なし	不明	無回答
回答数(人)	1,018	375	360	180	15	4	26	45	-	13
構成比 (%)	100.0	36.8	35.4	17.7	1.5	0.4	2.6	4.4	-	1.3

問 12 退院後の利用サービス（複数回答）

- ・退院後の利用サービスをみると、「通所系」が6割以上（63.8%）と他のサービスに比べて突出して高くなっている。
- ・その他のサービスでは、次いで「訪問看護」（34.4%）、「訪問介護」（30.7%）、「短期入所系」（18.5%）、「その他訪問系サービス（入浴、リハビリ）」（18.0%）の順となっている。

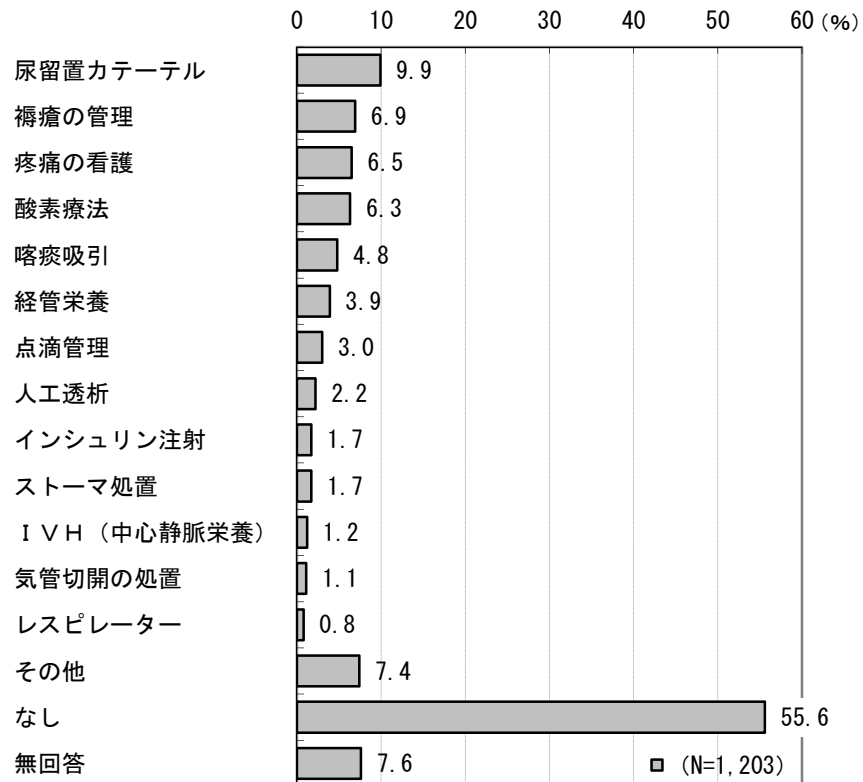


	全体	通所系	訪問看護	訪問介護	短期入所系
回答数(人)	1,203	768	414	369	222
構成比 (%)	100.0	63.8	34.4	30.7	18.5

	その他訪問系サービス (入浴、リハビリ)	小規模多機能型 居宅介護	定期巡回・ 随時対応型 訪問介護看護	その他	無回答
回答数(人)	216	15	13	506	36
構成比 (%)	18.0	1.2	1.1	42.1	3.0

問 13 退院時の医療的処置の内容（複数回答）

- ・退院時の医療的処置の内容をみると、「なし」が半数以上（55.6%）となっているものの、「なし」と「無回答」を除いた、何らかの医療的処置が必要な人が3割以上（36.8%）となっている。
- ・何らかの医療的処置が必要な人が受けている具体的な医療的処置の中では、「尿留置カテーテル」が約1割（9.9%）と高く、次いで「褥瘡の管理」（6.9%）、「疼痛の看護」（6.5%）、「酸素療法」（6.3%）の順となっている。



	全体	尿留置カテーテル	褥瘡の管理	疼痛の看護	酸素療法	喀痰吸引	経管栄養	点滴管理	人工透析
回答数(人)	1,203	119	83	78	76	58	47	36	27
構成比 (%)	100.0	9.9	6.9	6.5	6.3	4.8	3.9	3.0	2.2

	インシュリン注射	ストーマ処置	I V H (中心静脈栄養)	気管切開の処置	レスピレーター	その他	なし	無回答
回答数(人)	21	20	14	13	10	89	669	92
構成比 (%)	1.7	1.7	1.2	1.1	0.8	7.4	55.6	7.6